

2018年3月8日
日本電気硝子株式会社

世界最高の可視光透過率を持つ赤外線吸収フィルターを開発

日本電気硝子株式会社(本社：滋賀県大津市 社長：松本元春)は、赤外線を高効率で吸収しながら、可視光線域での透過率を世界最高水準^(※)に向上させたガラス材料の開発に成功し、受注を開始しました。3月14日から開催される「SEMICON CHINA 2018」(於：中国上海市)に出展します。

赤外線を高効率で吸収することで分光感度を人の目の感度に近づける赤外線吸収フィルターは、イメージセンサの前に配置することにより撮影された映像や画像をより自然な色合いに見せることができ、スマートフォンやデジタルカメラ、監視カメラなどに広く使用されています。一方で、スマートフォンなどのモバイル機器に使用される薄型のフィルターにおいては可視光線域での透過率が低いため、十分な画質が得られないという課題がありました。

このたび当社が開発した赤外線吸収フィルターは、赤外線の吸収効率は維持しつつも、可視光線域での透過率が大幅に向上しており、イメージセンサの画質向上に大きく貢献します。とりわけ、グローバルなボリュームゾーンであるスマートフォンカメラの汎用ガラス製フィルター(標準厚さ 0.21mm)において、競合製品を大きく上回る性能を発揮することができる、極めて画期的な製品であると言えます。

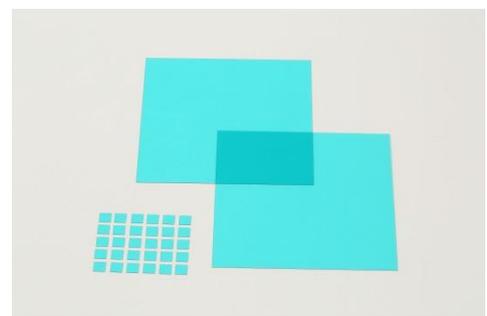
また当社は、上記製品の約半分の厚さ(0.10mm)でありながら同等の赤外線吸収率を持つ製品を上市していますが、この0.10mm厚のフィルターにおいても可視光線域の透過率をさらに向上させることができました。スマートフォン用途として同じ厚さで競合する樹脂製フィルターと比較しても大幅に透過率が向上しており、モバイル機器のカメラの画質の向上やさらなる薄型化に貢献することが期待されます。

当社としては、これらの新製品を通じて、カメラの画質向上、モバイル機器の薄型化・小型軽量化のニーズを積極的に取り込み、赤外線吸収フィルターの事業を拡大してまいります。

(※) 当社調べ

<製品概要>

- 製品寸法(標準品)：
77mm(縦) × 77mm(横) × 0.21mm・0.10mm(厚さ)
これ以外のサイズについても対応可能
- 仕様等：
AR(反射防止)コートや IR(赤外線反射)コート可能



(製品写真)

日本電気硝子株式会社 〒520-8639 滋賀県大津市晴嵐二丁目7番1号

《リリース内容に関するお問い合わせ》

総務部 広報担当

電話：077-537-1702 (ダイヤルイン)

《製品に関するお問い合わせ》

電子部品事業本部営業部(大阪)

電話：06-6399-2722 (ダイヤルイン)